

まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 日黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

被災地を訪れて

木野雅之

梅雨明けも間近な7月初旬、東北地方は30度を超える蒸し暑い日々でした。

今回被災地を訪れるにあたり考えましたことは、現地ピアノが使えないこと、遺体の捜索や瓦礫の撤去作業が進行する中での演奏という特別な条件でもあり、精神的にも強く被災者に対する思い遣りがある人ということから、チェンバロの演奏もできる平沢匡朗氏にお願いし、車にチェンバロを乗せ彼の運転で現地へ赴きました。

水沢江刺駅で今回の訪問の調整役で岩手県の内陸部の胆江日々新聞記者である友人の児玉直人氏と、豊岡市からきた住職の敬雲氏、ボランティア参加の中尾氏と合流、計5人で盛の三陸鉄道車庫、カメリアホール、大船渡教会、陸前高田第一中学校の計4ヶ所を訪れ演奏しました。4ヶ所はいずれも冷房は無く、まるで植物園の温室のようでした。

演奏前に私が持参した義援金48万円、三陸鉄道の回数券を購入、地元のお年寄りの方々にこれを使ってもらおうと友人に託しました。

まず最初に演奏した車庫の印象は想像していたより音響が良くとても弾きやすかったことです。ただ人々の表情が固かったただけでなく眼に表

情が無く感じられました。明日への希望もなくなり、財産、家族、親戚、友人、町、全てを失った悲しみがそこにはありました。我々が演奏する音楽で少しでも癒やすことができるだろうかと考えながら始まった演奏でしたが、終演後「音楽を聞いて本当に良かった！ヴァイオリンやチェンバロの音に癒されました」と言われた時にはホッとしていました。

夜の演奏場所、カメリアホールは盛駅前、これも避難所になっているようでした。着いてすぐにチェンバロを運びこもうとしてドアをあけるとすぐ前にダンボールのハウスが、ちようどお休み中だった様で、「どかしましょうか？」と言ってくれたのだが、良く見たら隙間から入れられそうなので「そのまま大丈夫ですのうどうぞお休み下さい！」と伝えた。何だか本当に大変な所にお邪魔した様で恐縮した。ここには東京から友人もかけつけてくれたり地元でヴァイオリンやチェロをやりながら被災された方々にも会ったりして話を聞くことができた。震災以降レッスンは全くなくなってしまうらしく、せめてものプレゼントとして私のレッスンDVDを差し上げた。

終演後は近くのコンビニで食料を買って込みその夜の宿泊先、吉浜の民宿に移動しました。まだレストランや居酒屋といった外食できる所はほとんど無く、又今回7割の宿泊施設が被災した中で奇跡的に残った民

宿をなんとか手配できたのですが、それもただ泊まるだけで浴衣や洗面用具のサービスも一切無く、復興事業関係者が最優先の中でやつとみんなで1部屋取れた状態でした。

翌朝、私と平沢氏で地元の楽器屋に寄りました。ここも実は被災されて今の場所に1ヶ月程前に移転、再開できた様でぜひ頑張ってください。

昼は大船渡教会でのコンサート、とても素敵な建物でここだけは無傷の様で本当に良かったです。牧師さんのご好意でこちらをお借りでき感謝の気持ちで一杯です。チェンバロの音が本当に胸に染み渡りました。そして暑さにも関わらず大勢の方々が集まってくれました。

最後は陸前高田の第一中学校の避難所になっている体育館でした。何と初めは1200人も避難していたといいますが、それでもまだ188人も冷房のない所にいる様子を見ますと本当に切なくなりました。この体育館の舞台をお借りして演奏、最後は全員でヴァイオリンとチェンバロ伴奏による遠藤実の北国の春と一緒に歌って和やかに終えました。

今回の演奏を全て終了してそのまま東京へ。北国の春はまだまだ遠いですが、自分にできることをこれからも続けていこうと強く思いました。どんなにつらくとも彼らはもつと大変なのだから涙は絶対に見せないと思っていたのですが、帰宅の途に就

いた途端涙が止まりませんでした。

華麗な音色 聴衆魅了 人吉市で球磨川音楽祭

国際的なバイオリンリスト木野雅之さん出演する（第5回球磨川音楽祭）が2日夜、人吉市の人吉カルチャーパレスであった。

木野さんは日本フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスター。幼少期を湯前町で過ごした縁で、地元ファンらでつくる実行委員会が毎年、音楽祭を開いている。

フランスからアコーディオン奏者のジャン・リュック・マンカさん、バイオリンリストのフリップ・クレマンさんがゲスト出演。欧州の少数民族ロマの音楽をテーマに、木野さんと息の合った華麗な音色を披露し、聴衆を魅了した。

地元合唱団も賛助出演。弦楽器の旋律に乗せて合唱曲「球磨川」などを響かせた。3日夜は多良木町の交流館石倉で、木野さんとピアノリスト高良仁美さんによるバイオリン・リサイタルがあった。

（熊本日日新聞 白杵大介）



球磨川音楽祭で、弦楽器の旋律に乗せて歌声を披露する地元合唱団ら

震災から4ヶ月経った 被災地

2011年7月8日の早朝、私はトヨタのワゴンに小型チェンバロを積んで、木野

雅之さんと共に東京を出発した。

東北自動車道を運転すること約6時間。那須そして磐梯山を越え、仙台の街を右に見やり、北へとひた走る。お昼頃岩手県に入り、平泉を通る。その昔、奥州藤原氏が栄えたところだ

と思うと、民家にも、古い木立にも、何か歴史の重みを感じ、震災の爪あとを感じさせるところは無いようにも見える。

午後1時過ぎ、水沢インターで東北道を降り、案内をしてくださる児玉直人さんと待ち合わせる。過密都市東京

よりは涼しいと思っていた東北なのに、意外にも蒸し暑い。ここからは児玉さんの先導となり、東へ向かう。いくつか山を越えた先が大船渡なのだ

そうである。穏やかな山並みと、濃い緑色のなかを走っていく。途中「星と賢治の種山が原」の標識を見る。「ああ、このあたりは宮沢賢治のゆかりの地なのだ」。長時間の運転でこわばった自分が、少し和むのを感じる。

それから走ること約2時間。突然、倒壊した家、崩れた橋などが、いきなり目に飛び込んでくる。建物が根こそぎ津波にさらわれてしまい、何もなくなった空だけが無限に広がる荒野に、むき出しの鉄筋、トタンの破片、曲がった線路、散乱した家財道具やひっくり返った車が、午後の傾きかけたお日様の光を浴びている。すべては4ヶ月前、テレビや新聞で見た光景と未だ変わらずといった印象を受けた。

途中車を降り、児玉さんが駅の跡に案内してくれた。今は雑草が茂る中、ただコンクリーのホーム跡が盛り上がってあるだけである。津波が襲ってきたのだといって児玉さんが指差した先は、周りの山がせり出したはるか向こう、夏の日の光を受けて、かげろうのように揺らめきながら、なにか空虚な明るさで輝いている静かな光景だった。

ついに海沿いに到達、大船渡の街に入る。辺り一面根こそぎ状態。もはや声も出ない。そして、独特の異臭が鼻

をつく。打ち上げられた魚の死骸のためだそうである。

ほどなく三陸鉄道盛駅車庫に着。今日最初の公演会場だ。すぐにチェンバロを車から搬出し、組み立てて、車庫内に設置。この楽器も、まさかここで音を出すとは思ってもみなかったろう。ちよつと弾いてみる、なんと、いい響き！！鉄道車庫は天井が高く、三角形の造りが音響にプラスなのだろうか。演奏位置が決まったので、スタッフの人たちが客席を並べ始める。響きの良さに気をよくしながら、私たちも大急ぎで着替える。

このコンサートは、甚大な被害を受けた三陸鉄道を応援するために、木野さんの提案で実現したものと聞いている。木野さんが三陸鉄道の回数券を無料で約50万円分買い上げ、その切符を地元で交通手段を持たず困っている人に差し上げるといふ事だそうである。鉄道ファンの木野さんならではの、誠意に満ちた的確な支援の仕方と感じた。

午後4時からのコンサートでは、お客様や地元の報道の方の前で、木野さんとヘンデルのソナタ、地元岩手ゆかりの曲などを演奏した。コンサート終了後、向かいにある、カメラリアホールへ移動。

ホールの中はなんとなく騒然としている。想像していたことではあったが、客席には家を失った人が、まだ大勢暮らしておられたのだ。「あの日」

から4ヶ月、ご心労はいかばかりだろう。また、私たちの演奏を受け入れてくれるだろうか。

舞台上上がってみると、なんとヤマハのグランドピアノが1台「生きて」いるではないか！弾いてみる。音もそんなに狂っていない。これなら木野さんお得意のツイゴイネルワイゼンも伴奏できるぞ、と小躍り。

伝え聞いたところによると、多くのピアノが津波にさらわれたそうである。今回のことも、現地のピアノの様子が分からないことを考えてのチェンバロ持参である。思いがけずピアノがあったということは、無事を確認できた人に会えたようで、とても嬉しかった。

舞台セッティングを済ませ、用意していた控え室に移動。そこにはヴァイオリンやチェロを持った人達が木野さんを待っていた。

習っていた先生が地震で教室をやむなく閉鎖し、ヴァイオリンの勉強が出来なくなってしまう女の子、持っていた楽器を流されてしまい、あちこちから部品を探し出して、なんとチェロを組み立てたのだが、うまく鳴らせないという女性の方等々。

木野さんは、一人一人に、楽器の調子を見てあげたり、励ましの言葉をかけてあげたり…。

駆けつけてくださったお客様、ホールで暮らしている方々も交えて、コンサートは無事終了。しかし、暖かい言葉をかけてくださる被災者の方々の

微笑みの奥に、疲労を感じずにはいられない。少しでも、その気持ちを解きほぐして差し上げたいと思うのだが。

コンサート終了後、夜の帳の中を、奇跡的に津波を免れたという、吉浜の民宿に向けて移動。というのも、大船渡の市内の宿泊施設はほとんど津波で壊され、泊まる場所がないのだ。ここに泊めていただけるのも幸運、多くのボランティアの人達は車中泊、テント泊と聞いているので、誠にありがたい限りである。

翌朝、吉浜を出発。今日も2公演予定である。日本の原風景ともいえる山の緑と海の青、美しい海岸線。地震さえなければ、のどかな気持ちにひたれるのだろうか。

10時頃、再び大船渡に入る。コンサートまでの時間、少し市内を回ってみる。津波の中心から免れたところでも、多くの商店は閉じており、開いているのはコンビニだけといった感じだ。「本当に、当座の生活に最低限必要な物のみ、かろうじて」という状態で、「普通の生活」などまだまだ先、ということかも知れない。つまり、経済が動いていないのだ。

商店街の中に、開いている酒屋さんを見つけて入ってみる。聞いてみると、地元の酒蔵はほとんど壊滅状態のことだ。日本酒も、日本の大事な文化、悲しい限りである。

お昼、大船渡の教会でコンサート。地元のお客様も意外に大勢来てくださった。皆さんの様子からは、何とな

く復興に向けた希望を感じる。もちろん、まだまだ大変なのは言うまでもないのだが、切羽詰まった状態から強いられて「頑張ります」というのではなく、何か前向きに生きる光明というか、昨日以来の重苦しい雰囲気の中で微かな気持ちの和み、芽吹きのように感じたのだ。そういう方々もまだ少しではあるけれど出てきてくれることを嬉しく思い、是非、皆さんが復興に向けて益々前進していくことを願いつつ大船渡をあとにした。

ひと山越え、峠から陸前高田を見渡す。再び、否応のない現実を目の前に突きつけられる。ここは、特に津波で壊滅的な被害を受けたと聞いている。戦後18年経って生まれた私は、東京大空襲の様子を写真でしか知らない。でも、きつと目の前の風景から、海近くまでせり出している山を取り除けば、昔教科書で見たあの写真になると感じた。かつての美しい山並みとの、なんという不一致！

津波に生活のすべてを持ち去られた街の中を通り抜け、丘の上にある陸前高田第一中学校に到着。校庭は所狭しと仮設住宅が並んでいる。学校再開したとき、体育の授業はどうしたらよいのだろうか。

体育館の中も、未だ避難所になっている。180人の人達がここで生活しているのだ。皆さん仮設住宅を申請したのに、入れないのだそうである。

私は考えされる。確か私は音楽の力を信じて、融和と希望と慰問のために

ここに来たのだ。でも、目の当たりにしたのは、この現実。たった一軒隔て、全て流された人と、助かった人。たった一棟隔てて、仮設の人と避難所の人。

体育館の中は、とてつもない暑さ。彼らはこの4ヶ月、なすすべもなくここにいる。現実には、まだそういう人達がいる。

全国から、ここに支援の物資が届くのだそうである。この猛烈な暑さの中で、「東北はさぞかし寒いでしょう」といって、毛布の山が…。

私は、全ての人の融和と慈愛を説く篤志家の人達を、正直言って冷ややかな目で見ていた自分を思い出した。でも今は、これらの篤志家は、きつとこれと同じ現実を見て、ものを言っているんだろうと気づいた、そして思った。この中でも皆さんは生きています。大汗をかきながら、木野さんとG線上のアリアを弾きながらそう思った。そして気がついたのである。弾くことは「祈り」なのだ。

私は一介の音楽家ではない。今回は偶々被災を免れたというだけで、特別な力がある訳でもない。しかし私たちはこの人達のことを、この現実を絶対忘れてはならないのだと思った。

陸前高田をあとに、夕暮れの三陸の山の中を、東京へと帰路について。被災地の復興と、そして心の平安を願いつつ…。

(平沢匡朗(ピアニスト))
記事の演奏は YouTube でご覧を。

木野雅之スケジュール 2011年10月~2012年3月

ソ	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	10/1(土)18:30	KMA室内合奏団第1回定期	熊本 熊本市国際交流会館	深澤功(OB)他	ブリテン シンプルシンフォニー他
☆	10/3(月)17:30	フォルテサロンコンサート	東京 聖路加ルーク	菊地球里(Pf)他	ベートーヴェン ロマンズ第2番他
☆	10/4(火)14:00	リサイタル	熊本 帯山小学校	福岡由記(Sop)他	
☆	10/6(木)19:00	リサイタル	千葉 習志野文化H	藤本史子	サンサーンス ソナタ第1番他
☆	10/7(金)19:00	木野雅之室内楽講座コンサート	神奈川 川崎市ソリッドスクエア	武田章寛(VI)他	ショーン 協奏曲他
	10/10(月祭)14:00	トリオミニストレルコンサート	東京 文化小	小川剛一郎(Vc)他	リスト ベストの謝肉祭他
☆	10/11(火)20:30	浴衣でコンサート	神奈川 箱根仙石原仙郷楼	郭敏(揚琴)	黎錦光 夜来香他
	10/14(金)19:15	日フィル杉並シーズン秋	東京 杉並公会堂	宮本文昭(Cond)他	メンデルスゾーン イタリア他
	10/15(土)14:00	トリオミニストレルコンサート	兵庫 西宮芸文小	北住淳(Pf)他	ピアノラ パルダリート他
	10/18(火)19:00	トリオミニストレルコンサート	福岡 博多あいれふH	小川剛一郎(Vc)他	ドビュッシー ミニストレル他
	10/20(木)19:00	トリオミニストレルコンサート	愛知 岡崎コロネット	北住淳(Pf)他	ベートーヴェン 幽霊他
☆	10/25(火)18:45	木野雅之ピアノトリオリサイタル	愛媛 松山市民会館	平沢匡朗(Pf)他	ブラームス ホルントリオ他
☆	11/12(土)18:00	リサイタル	長野 蓼科華空間	水月恵美子(Pf)	リヒャルト シュトラウス 薔薇の騎士他
☆	11/13(日)18:00	リサイタル	兵庫 宝塚龍坊	平沢匡朗(Oem)	ヴィタリ シャコンヌ他
☆	11/17(木)13:30	リサイタル	愛知 名古屋宗次H	田中正也(Pf)	チャイコフスキー ワルツスケルツォ他
	11/19(土)15:00	トリオミニストレルコンサート	東京 安養寺	小川剛一郎(Vc)他	ピアノラ ヴァルダリート他
	11/20(日)15:30	日フィルコンサート	福島 いわぎアリオス	小林亜矢乃(Pf)他	ベートーヴェン 運命他
	11/23(水祭)14:00	日フィルどリーむコンサート	東京 府中の森	中村紘子(Pf)他	ドヴォルザーク イギリス他
	11/24(木)19:00	日フィルコンサート	東京 アプリコ蒲田	後藤正孝(Pf)他	ベートーヴェン 皇帝他
	11/27(日)14:00	日フィル第九コンサート	東京 めぐろパーシモンH	芝沼美湖(Sop)他	モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス他
	11/28(月)13:00	ギトリス公開マスタークラス	東京 二子玉川オーキッドサロン		
	11/29(火)13:00	ギトリス公開マスタークラス	東京 二子玉川オーキッドサロン		
	12/1(木)19:00	日フィル第九コンサート	東京 オペラシティ	小松長生(Cond)他	ベートーヴェン プロメテウスの創造物他
	12/3(土)18:30	日フィル第九コンサート	栃木 宇都宮市文化	鈴木准(Ten)他	ベートーヴェン 第九他
	12/4(日)15:00	日フィルフレッシュ名曲コンサート	東京 秋川キララH	藤原功次郎(Tbn)他	アンダーソン モリスベリ他
☆	12/5(月)20:30	浴衣でコンサート	神奈川 箱根仙石原仙郷楼	奥田恭子(Hp)	サンサーンス 幻想曲他
	12/9(金)19:00	日フィル第636定期	東京 サントリーH	林正子(Sop)他	ベルク ルル他
	12/10(土)14:00	日フィル第636定期	東京 サントリーH	林正子(Sop)他	ベルク ルル他
	12/11(日)15:00	トリオミニストレルコンサート	京都 宇治教会	北住淳(Pf)他	リスト ベストの謝肉祭他
☆	12/16(金)19:00	リサイタル	熊本 人吉森のH	藤本史子(Pf)	リヒャルト シュトラウス 薔薇の騎士他
☆	12/18(日)14:00	リサイタル	熊本 ルーテル学院	藤本史子(Pf)	ドビュッシー 狂詩曲第1番他
☆	12/19(月)19:00	リサイタル	福岡 博多平尾スタジオアピッツナタ	藤本史子(Pf)	サンサーンス ソナタ第1番他
☆	12/22(木)19:00	日フィル第九コンサート	東京 サントリーH	小林研一郎(Cond)他	バッハ 主よ人の望みの喜びよ他
	12/23(金祭)	日フィル第九コンサート	東京 文化大	ケン シエ(Cond)他	ベートーヴェン 第九他
	12/24(土)15:00	日フィル第九コンサート	東京 杉並公会堂	菅英三子(Sop)他	バッハ トッカータとフーガ他
	12/25(日)14:00	日フィル第九コンサート	東京 サントリーH	栗林朋子(Alt)他	ベートーヴェン 第九他
	12/26(月)19:00	日フィル第九コンサート	神奈川 横浜みなとみらい	錦織健(Ten)他	バッハ 主よ人の望みの喜びよ他
	12/27(火)19:00	日フィル第九コンサート	東京 オペラシティ	青戸知(Bar)他	バッハ トッカータとフーガ他
☆	12/28(水)	発表会	東京 杉並公会堂小	柴田恵奈(VI)他	メンアン イエスの不滅性への賛歌他
	12/29(木)	フォルテサロンコンサート	東京 聖路加ルーク	見角悠代(Sop)他	
	1/6(金)19:00	日フィル第69回さいたま定期	埼玉 大宮ソニック	千住真理子(VI)他	ドヴォルザーク 新世界他
	1/7(土)18:00	日フィル第274回横浜定期	神奈川 横浜みなとみらい	小林研一郎(Cond)他	モーツァルト フィガロの結婚他
	1/8(日)15:00	ラスカニューイヤーコンサート	神奈川 平塚市民会館	朴葵姫(Guit)他	ブラームス 交響曲第2番他
	1/9(月祭)	オーケストラ	東京 稲城?		
	1/13(金)14:00	日フィル立教女学院コンサート	東京 杉並公会堂	山下一史(Cond)他	
	1/15(日)14:00	日フィルコンサート	東京 オペラシティ	小林研一郎(Cond)	ヨゼフ シュトラウス 緞治屋のボルカ他
	1/22(日)	まさゆき倶楽部?新年会	東京 柿の木坂華空間		
	1/24(火)	日フィル都民芸術フェスティバル	東京 文化大	上野優子(Pf)他	チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番他
	1/26(木)	日フィルコンサート	静岡 グランシップ	川瀬賢太郎(Cond)	チャイコフスキー 交響曲第5番他
	1/27(金)	日フィルコンサート	静岡 グランシップ	川瀬賢太郎(Cond)	チャイコフスキー 交響曲第5番他
	1/28(土)16:15	日フィルシーズン冬	東京 杉並公会堂	藤岡幸夫(Cond)他	ヨゼフ シュトラウス とんぼ他
	1/29(日)14:30	日フィル第348回名曲コンサート	東京 サントリーH	純名りさ(VI)他	ヨハン シュトラウス チクタクボルカ他
	2/3(金)18:00	トリオミニストレルコンサート	三重 鈴鹿中学校	北住淳(Pf)他	ドビュッシー ミニストレル他
	2/4(土)	日フィルコンサート	岐阜 飛騨高山世界芸術堂	高橋多佳子(Pf)他	ドヴォルザーク 新世界他
	2/5(日)	日フィルコンサート	岐阜 サラマンカH	川瀬賢太郎(Cond)他	ドヴォルザーク 新世界他
	2/6(月)~9(木)	リサイタル	陸前高田、大船渡、釜石、盛他?		
☆	2/11(土)	リサイタル	宮城 石巻自分の木	小熊由里子(Pf)	
☆	2/18(土)	オーケストラフィルハーモニー第32回定期	東京 なかのZERO	武田章寛(VI)他	ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第2番他
	2/19(日)	第4回合歓の郷セミナー受賞者コンサート	東京 二子玉川オーキッドサロン	井上さとみ(VI)他	リヒャルト シュトラウス ヴァイオリンソナタ他
	3/2(金)	日フィルクラブツーリズムコンサート	東京 サントリーH	壇ふみ(司会)他	
	3/4(日)14:00	日フィルコバケンガラ	東京 サントリーH	有希 マヌエラ ヤンケ(VI)他	ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲他
	3/11(日)14:00	日フィルフレッシュ名曲コンサート	東京 東大和市民会館ハミングH	梅田俊明(Cond)他	シベリウス フィンランディア他
☆	3/18(日)	オーケストラフィルハーモニック長崎コン	長崎 時津力ナリーH	小山大作(Cond)他	ブラームス ヴァイオリン協奏曲他
☆	3/24(土)	リサイタル	愛知 名古屋フィオーリーレ	北住淳(Pf)	
	3/30(金)19:00	日フィル第70回さいたま定期	埼玉 大宮ソニック	渡辺克也(OB)他	ムソルグスキー 展覧会の絵他